

令和4年度第2回千葉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター一部会開催概要

1 開催日時：令和5年2月27日（月） 14：00～15：30

2 開催場所：千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター 大ホール

3 主な議題

- (1) 令和4年度事業実施状況について
- (2) 令和5年度事業実施計画について

4 意見交換

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。委員からの主な意見としては、以下のとおり。

○訓練受講者の確保及び就職支援の取組について、どの取組に注力するのか検証する必要があると思われる。入所の方がハローワークでの説明会を受けたことで応募に繋がったのであれば、説明会参加者の推移等を検証するなど、時代に合わせたより効果がある取組を検討して欲しい。

○ポリテクセンター君津が所有するARやVRを活用したシミュレータ等のデモンストレーションや小学校における出前教室の様子などをYouTubeに掲載することは大きなPR効果があるのではないかと。

○就職後にミスマッチで1、2ヶ月後に退職するケースも多くなっているが、そういった方々を支援する仕組みがあればポリテクセンター君津に若い方が入所することも十分考えられるのではないかと。

○若くて離職した方々が希望する職種以外でアルバイトやフリーターとして過ごした結果、正社員で雇用される機会に恵まれないように思われるが、そのような方々を支援する仕組みや高等学校等における就職支援において、離職した際の選択肢を理解した上で就職できるよう、職業訓練をPRすることも必要になってくるのではないかと。

○昨今、中学を卒業すると千葉県内に工業高校は複数あるにも関わらず、親の希望もあるのか、一般的に普通高校へ進学し、大学を目指すという流れになっている。ものづくりの良さを理解してもらうためにも、中学や高校の先生向けにポリテクセンター君津を周知する機会を作ってはどうか。

○就職に力を入れている高校へポリテクセンター君津の指導員の方が出前授業に行き、関心がある生徒には実際ポリテクセンター君津に来てもらい、ものづくりを体験してもらいと良い経験になるのではないかと。

○広報関係で努力している中で、「随時見学できます」等のキャッチコピーを活用したり、メディアツアーなどの実施状況を掲載したYouTubeの動画にすぐアクセスできるような案内を広報媒体に載せるといった工夫を行うことで訓練受講者募集の効果がより上がるのではないかと。

令和4年度第2回千葉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター一部会委員名簿

【労働者代表】

牟田 智彦 日本製鉄君津労働組合書記長

【事業主団体等】

齊藤 敦 君津商工会議所専務理事

永野 昭 木更津商工会議所専務理事

高梨 順一 東日本製鉄所君津地区協力会常務理事・事務局長

【行政機関等】

高橋 弘秀 千葉県商工労働部産業人材課長

小曾根勝己 君津市経済環境部経済振興課長

鈴木ひろ子 木更津公共職業安定所所長